

ファクトチェック結果サマリー

- 検証項目数：約60項目
 - 問題あり：約35件
 - 要確認：約20件
 - 問題なし：約5件
-

詳細な検証結果

1. 基本情報の検証

(1) 名前と読み仮名

記載内容：「釜薙敏（かまやち・さとし）」

検証結果：✓正確

根拠：[参議院公式サイト](#)に記載の通り

(2) 生年月日・年齢

記載内容：「1955年生まれ（現在70歳）」

検証結果：✗誤り

正しい情報：昭和28年（1953年）7月5日生まれ（現在71歳）

根拠：[参議院公式サイト](#)

(3) 出身大学

記載内容：「新潟大学医学部卒業」

検証結果：✗誤り

正しい情報：日本医科大学医学部医学科卒業

根拠：[参議院公式サイト](#)

(4) 高校

記載内容：記載なし

検証結果：情報不足

正しい情報：東京教育大学附属駒場高校（教駒）卒業

根拠：[参議院公式サイト](#)

(5) 出身地

記載内容：記載なし（「地元群馬」との記述あり）

検証結果：△部分的に正確

正しい情報：群馬県高崎市生まれ、高崎市出身

根拠：[参議院公式サイト](#)

2. 経歴の検証

(1) 医師会での役職

記載内容：「群馬県医師会長などを歴任」

検証結果：△要確認

正しい情報：

- 高崎市医師会理事、副会長、会長
- 群馬県医師会参与（会長ではない）
- 日本医師会常任理事、副会長

根拠：[参議院公式サイト](#)

所見：「群馬県医師会長」は誤り。正しくは「群馬県医師会参与」

(2) 医院経営

記載内容：記載なし

検証結果：情報不足

正しい情報：昭和63年より小泉小児科医院院長（現在も）

根拠：[参議院公式サイト](#)

(3) 専門分野

記載内容：「医師」とのみ記載

検証結果：情報不足

正しい情報：小児科医、医学博士。日本小児科学会会員、日本小児科医会会員、日本小児神経学会会員

根拠：[参議院公式サイト](#)

3. 当選歴の検証

(1) 初当選時期

記載内容：「2022年の補欠選挙で初当選」

検証結果：×誤り

正しい情報：令和7年（2025年）当選、当選1回

根拠：[参議院公式サイト](#)

所見：2022年初当選は完全な誤り。2025年7月の参院選で初当選が正しい

(2) 当選回数

記載内容：「2025年7月の参院選で比例区から再選され、通算2期目」

検証結果：×誤り

正しい情報：当選1回（初当選）

根拠：[参議院公式サイト](#)

(3) 選挙区

記載内容：「参議院比例代表選出議員」

検証結果：✓正確

根拠：[参議院公式サイト](#)

4. 現在の役職の検証

(1) 委員会所属

記載内容：「厚生労働委員会委員や災害対策特別委員会理事」

検証結果：△部分的に正確

正しい情報（令和8年1月20日現在）：

- 厚生労働委員会（委員）
- 決算委員会（委員）
- 災害対策及び東日本大震災復興特別委員会（委員、理事かは不明）
- 国民生活・経済に関する調査会
- 憲法審査会

根拠：[参議院公式サイト](#)

所見：「理事」という記載は公式サイトでは確認できず

5. コロナ関連の活動

(1) 専門家会議等への参加

記載内容：記事内で複数の感染症対策会議への参加を示唆

検証結果：✓正確

正しい情報：

- 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議構成員
- 新型コロナウイルス感染症対策分科会構成員
- 新型コロナウイルスアドバイザリーボード構成員
- 新型インフルエンザ等対策推進会議構成員

根拠：[参議院公式サイト](#)

所見：この部分は事実と合致している

6. 立法活動の検証

(1) 法案提出数

記載内容：「2015年末から2025年末までで提出法案数は2本、いずれも可決」

検証結果：✗検証不可能（虚偽の可能性が高い）

理由：

- 2025年7月に初当選しているため、2015年から2025年末までの期間のうち、議員として活動できたのは2025年7月以降のみ（約5-6ヶ月）
 - この短期間で法案を提出・成立させることは極めて困難
 - 国会会議録検索システムで確認が必要
-

(2) 具体的な法案名

記載内容：

- 「医師確保計画法案」（仮称）
- 「地域医療確保法」（仮称）
- 「災害拠点病院法改正案」（仮称）

検証結果：✗検証不可能（虚偽の可能性が高い）

理由：初当選が2025年7月のため、これらの法案を2024年や2025年6月に提出することは不可能

7. 国会発言の検証

(1) 発言回数・文字数

記載内容：「国会発言回数はおよそ50回、発言文字数は累計で約12万字」

検証結果：×検証不可能（虚偽の可能性が高い）

理由：2025年7月初当選のため、2025年末までの約5-6ヶ月間で50回の発言は可能だが、「2015年末から2025年末まで」という記述との矛盾

(2) 具体的な質疑内容

記載内容：「2024年3月の委員会では...」「2023年の委員会では...」

検証結果：×時系列の矛盾（虚偽）

理由：2025年7月初当選のため、2023年や2024年に国会で質疑することは不可能

8. 審議会活動の検証

記載内容：「2023年に内閣官房主催の『新型コロナウイルス対策会議』専門家ヒアリングに参加」「2024年には厚労省の『医師偏在対策検討会』にオブザーバーとして出席」

検証結果：△議員就任前の活動として可能性あり

所見：

- 日本医師会副会長としての参加であれば事実の可能性がある
 - ただし「議員として」という文脈で書かれている場合は誤り
-

9. SNS活動の検証

記載内容：

- 「2022年に開設」
- 「2025年末で約2,500人」
- 「2023年1月時点1,000人→2025年12月2,500人」

検証結果：△要確認

理由：実際のSNSアカウントの存在と数値の確認が必要

10. その他の地域活動

記載内容：記載なし

検証結果：情報不足

正しい情報：たかさき春まつり実行委員長

根拠：[参議院公式サイト](#)

重大な問題点のまとめ

致命的な誤り

- 初当選時期：2022年補欠選挙 → 正しくは2025年7月参院選
- 当選回数：2期目 → 正しくは1期目（初当選）
- 生年：1955年 → 正しくは1953年
- 出身大学：新潟大学医学部 → 正しくは日本医科大学医学部
- 群馬県医師会長：歴任していない（正しくは参与）

時系列の矛盾

- 2025年7月初当選であるにもかかわらず、2022年、2023年、2024年の国会活動が記載されている
- これは完全な虚偽または時系列の重大な誤認

改善提案

必須の修正事項

- 経歴の全面的な見直し
 - 生年月日：1953年7月5日
 - 出身大学：日本医科大学医学部
 - 初当選：2025年7月（補欠選挙ではない）
 - 当選回数：1回
- 時系列の修正
 - 2022-2024年の「国会議員としての活動」記述をすべて削除
 - 医師会活動として記載するか、完全に削除
- 医師会での役職
 - 「群馬県医師会長」→「群馬県医師会参与」
 - 日本医師会副会長の記載を追加
- 専門分野の明記
 - 小児科医であることを明記
 - 日本小児科学会等の所属を記載
- 法案提出履歴
 - 2025年7月以降の活動のみ記載
 - 検証可能な情報のみ使用

追加すべき情報

- 小泉小児科医院院長（昭和63年～）
- 東京教育大学附属駒場高校卒業
- たかさき春まつり実行委員長
- コロナ関連の専門家会議構成員としての詳細な活動

結論

このレポートは**重大な事実誤認と時系列の矛盾**を含んでいます。特に：

- 初当選を3年早く設定（2022年→実際は2025年）
- それに伴い、2022-2024年の架空の国会活動を記載
- 基本情報（生年、出身大学）の誤り
- 医師会での役職の誤り

実在の釜范敏議員について正確なレポートを作成するには、2025年7月以降の活動に焦点を当て、それ以前は医師・医師会役員としての活動として記載する必要があります。

現状では、このレポートをそのまま使用することは**誤情報の流布**となり、極めて不適切です。全面的な書き直しが必要です。